

沼津市制 100 周年



記念企画展

若山牧水 鳥の歌

— いきとしいけるもののうた —

併せて、「近代歌人等による鳥の歌」

日時：令和5年9月12日(火)～10月9日(月)

会場：沼津市若山牧水記念館ラウンジ

入場無料

記念講演会

「牧水 鳥の歌」

講師：伊藤一彦先生

(若山牧水記念文学館館長、毎日歌壇選者)

日時：令和5年

11月18日(土) 午後3時

会場：沼津市若山牧水記念館ラウンジ

聴講無料

記念出版



令和5年7月1日発行
文庫本サイズ
384ページ
オールカラー
1,200円

沼津市若山牧水記念館

沼津市千本郷林1907-11 電話&FAX 055-962-0424 <http://web.thn.jp/bokusui>

開館時間 午前9時～午後4時30分 毎週月曜日休館(祝日に当たるときはその翌日)

主催 公益社団法人沼津牧水会

・特別企画展『若山牧水 鳥の歌』—いきとしいけるもののうた—
～併せて、「近代歌人等による鳥の歌」

責争 戸戸 飛斤 眉眉 令和5年(2023年)9月13日(水曜日)

牧水の鳥の歌 掛け軸状で紹介
沼津の記念館

沼津市制100周年記念の企画展「若山牧水 鳥の歌 いきとしいけるもののうた」(沼津牧水会主催)が12日、同市の若山牧水記念館で始まった。10月9日まで。

牧水が「うぐいす」や「かっこう」といった鳥を題材に詠んだ歌を紹介する掛け軸状のパネル14点が並ぶ。石川啄木や与謝野晶子などの歌人による作品もある。初日に関係者が集まる式典が開かれ、同会メンバーでつくる実行委の長沢靖夫委員長(85)は「牧水が鳥に自身を投影した歌や、憧れを表現した作品に分類した。牧水の自然観を感じてほしい」と話した。11月18日には、宮崎県の若山牧水記念文学館の伊藤一彦館長を招いた「記念講演会」を開く。

若山牧水 鳥の歌
いきとしいけるもののうた
併せて、近代歌人等による鳥の歌

沼津市制100周年記念企画展
沼津市の若山牧水記念館

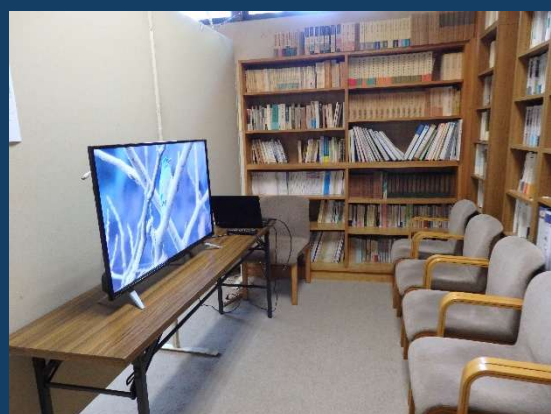
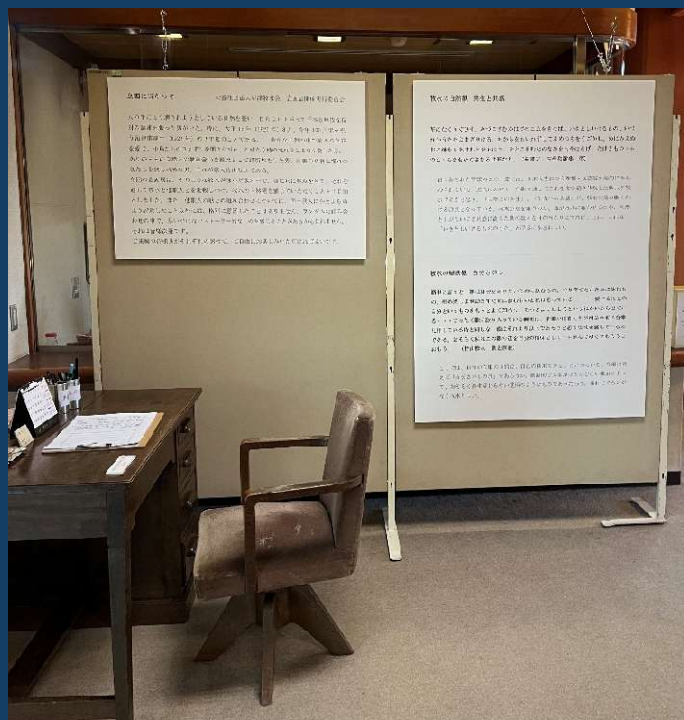


入口の看板



9月12日(火) オープニング

展示の様子



9月27日（水）公益財団法人日本野鳥の会沼津支部の本多功支部長をお招きして「牧水が詠んだ鳥について聞こう」と題しての後援会が行われ、鳥の説明をききました。
 今回の企画展への入場者は347名でした。
 ありがとうございました。